

	公表	事業所における自己評価総括表
--	----	----------------

○事業所名	社会福祉法人心愛会 障がい福祉サービス事業所コパン・クラージュ		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 12日		～ 2025年 12月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	54名	(回答者数) 34名
○従業者評価実施期間	2025年 12月 12日		～ 2025年 12月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 8名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 24日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	親子レクを含む外出活動の機会が企画されています。	親子遠足、親子レクでは、保護者様同士や職員との交流だけでなく“家族以外の人とお出かけをする機会”の提供を大事にしています。また日ごろの外出活動では、様々な場所に出かけることを通し、“実体験から学ぶこと”を支援しています。	放課後デイに関しては、特に重症心身障がい、医療的ケアが必要なお子さまの外出活動の回数不足を感じています。次年度は、回数を増やすことができるよう検討したいと思います。
2	就労移行、就労継続支援B型との多機能型事業所であり、異年齢の方々との交流機会があります。	施設の中を散策していると、他部署の職員や利用者様に声をかけていただきます。タッチや握手をしたり頭を撫でてもらったりと、子ども達もとても嬉しそうです。	コロナ前の様に、大人と子どもと一緒に楽しむイベントなども復活させていきたいと思っています。
3	看護師が配置されており、医療的ケアが必要なお子さまを受け入れることができます。	医療的なケアが必要なお子さまも、看護師のみが関わるのではなく、保育士・児童指導員も担当になり、発達支援を行っています。全員の目で見守り、連携を図りながら子さまの安全管理を行っています。	看護職員を増やし、今後も増える医療的なケアが必要なお子さまの通所希望を叶えていきたいと思っています。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	特に、夏休みなど長期休暇期間に利用者希望が増え、混雑することあります。	送迎、給食提供などの面からも、長期休暇時には希望が多くなります。個別での活動機会が少なくなってしまうことが課題です。	隙間時間を使って、個別の活動を取り入れるなど、次年度に向けて話し合いを行います。また、利用の調整を行わせていただきながら、適した環境を提供できるよう配慮していきます。
2	高校生が多くなり、下校時間が遅いことから、入浴可能な人数が限られてしまいます。	入浴実施事業所が2事業所のみであることが上げられます。	ご希望日すべてにはお応えするは難しいですが、みなさん公平に入浴できるよう、日程をずらしていただくなど適時対応していきます。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 障がい福祉サービス事業所コバン・クラージュ

公表日 2026年 2月 28日

利用児童数 2025年 12月 1日 現在 54 名

回収数 34名

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	29	4		1	コロナ禍以降、中に入ってお迎えができていないので、活動スペースが確保できているのかわかりません。	現在、保護者会やモニタリングなどクラージュ内で行っています。機会があれば、是非お越しいただきたいと思っています。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	24	4		6	少ない人数でも適切であると思います。良く見て頂いていると思います。	年度初めには職員一覧をお渡ししています。是非ご確認ください。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	30	3		1	写真や絵カード等で分かりやすく表示しており、それを確認し放課後の流れを理解している様で、良いと思います。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	33	1				
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	34				いろいろ工夫を凝らし、良いところを伸ばしてくれるような支援をしていただいていると感じます。 どれもよく理解されていると思います。ありがとうございます。	今後も、子ども達と丁寧に関りながら、特性の理解を深めていきます。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	33			1		事業所のプログラム、個別支援計画に沿った活動提供を心掛けています。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	34					
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	33	1				
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	34				いつもうちの子に何が合うか、何に興味があるかを考えて支援をしていただきありがとうございます。	ミーティングでは、前回のご利用状況、また個別支援計画書の確認を行い、支援を提供しています。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	34					
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	19	7	2	6	交流後、お礼を渡しに行く機会があり、良い経験をさせてもらっています。 事業所として機会を作っていると思うが、利用日にその機会にあたっていない。 学区外で、土曜日通所のため、地域等の交流はされていないように思う。	今年度は、園との交流を3回、こどもクラブとの交流会を2回実施しています。次年度も交流会を企画し、より多くのおみなさんが参加できるよう配慮します。
12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	34						
13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	34						
14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	31			3		保護者会を通し、褒めて認める子育てについて一緒に考える機会を持ちました。	
15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	33			1			
16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	33	1				定期的なモニタリングだけでなく、いつでもお気軽にご相談ください。対面でもお電話でもどちらでも可能です。	

保護者への説明等	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	34				いつもいろいろな話を丁寧に聞いていただいています。	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	32			2	コロナ禍あけてから、2025年はいろいろな会が開催されたと思います。、また2026年もお願いします。 今年、きょうだい向けのイベントに参加させていただきました。参加した妹がとても喜んでいました。	今年度大きく実施した“きょうだい児さん集まれ”の会。大変ご好評いただきました。次年度も企画する予定です。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	32	1		1	相談したときに親身になって聞いて頂き、共感やアドバイスに涙がでました。本当にありがとうございます！！	いつでもお気軽にご相談いただきたいと思います。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	32	2				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	34					
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	34					
	非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	32	1		1	
24		事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	33			1		
25		事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	31	1		2		せていただきました。次年度、再度配布また保護者会で説明させていただきます。
26		事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	32	1		1		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	34				子どもは勿論、親も安心して預けることができています。 安心感や信頼感があります。スタッフ同士が仲良く、まとまりがあるからこそ、子どもが安心していける場所なのだと思います。	いつもご利用ありがとうございます。今後も“チーム支援”を行っていきます。何かご希望、ご要望などあればいつでもお声かけください。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	33	1			本人の様子から、いつも楽しく過ごしている様子が伝わってきます。いつもありがとうございます。 毎回とても楽しそうにしています。いつもありがとうございます。 おむかえが来ると、自らくつをはこうと張り切っています。 毎週土曜日とても楽しみにしています。とても気分も良いみたいです。	いまた行きたい！そう思っているよう活動内容等工夫していきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	34				いつも温かな支援ありがとうございます。子どもの楽しいと言っています。今後ともよろしくお願いします。 いつも優しきであふてくれるクラージュは、本当に安心できる場所だと思います。	保護者様が安心してお子さまを委ねられることができるよう、今後心を入れて支援を行います。

公表 事業所における自己評価結果

公表日 2026 年 2月 28日

事業所名		障がい福祉サービス事業所コバン・クラージュ				
		チェック項目	はい		工夫している点	課題や改善すべき点
			はい	いいえ		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	1	適時使っていないスペースに物品を移動するなど工夫しています。	必要な物品が大きく、多いのが現状ですが、しまい込まず、使用時にすぐ出せる収納を目指します。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	8		イルカ・らっこ両方の支援をできる職員を育成中です。	障がい種別によらず、すべての子どもの支援ができることを目標に今後も自己研鑽を怠りません。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	1	こども達の自由な遊びを確保しつつも、ケガや転倒などが無いよう適時配慮しています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	4	らっこ・イルカ共にカムダウンエリアはないため、臨時的に相談室を使用するなど対応しています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		全員集まるとの部門会議は難しいものの、6名程度の少人数にて部門会議を複数回実施しています。少人数のため、意見を拾いやすい環境です。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		8		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8		全員が年に1回は外部研修に参加できるよう工夫しています。また、資料に関しては、申し送り書にて全員に回覧すること、また施設全体で報告会など実施しています。	個人ごとに学びを深めたいことも異なります。適時職員と面談を行い、それぞれのキャリアアップも応援します。
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8		心愛会のホームページに掲載してあります。また、配布も行っています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8		児童にはそれぞれ担当職員がいます。契約の段階から同席し、一緒にアセスメントを取るようになっています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8		担当職員、そして保護者様、児発管で話し合いを行い計画を立案しています。	写真等を用い、保護者様が分かりやすいイメージしやすい説明を心がけます。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8		毎朝計画書を確認し、その日力を入れて行うことを確認しています。	放課後の疲労度を見極め、柔軟に活用内容を変更しています。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	4	クラージュ独自のアセスメントシートをメインとしています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8		5領域にこどもを当てはめる、また埋めることを目的とせず、発達の過程を見極めた形骸化されない計画書作りを目指します。	こころを込めた計画書作りを行います。学び続けます。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8		保育士が中心となり遊びを検討し、その後看護師、児童指導員も入り内容を深めています。	今後もチーム力を高めていきます。

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	2	長期休暇時などは大変込み合い、個別の活動時間が取りにくいこともあります。	集団活動と個別活動をバランスよく提供できるように一層の創意工夫を行います。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8		毎朝ミーティングを実施し、情報共有を行っています。多職種連携で支援を提供しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点を共有しているか。	5	3	職員の勤務時間も異なり、また送迎も多岐にわたるため全員での振り返りは難しいものの、選番担当職員が集まり、記録をつけつつ情報共有を実施しています。	申し送り書を最大限活用し、情報の共有を行います。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8		多職種の視点を入れつつ、記録をつけています。他機関との情報共有についても、適時記録に残し全員で確認しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8		担当職員、児童発達支援管理責任者にて保護者様とモニタリングを行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	8		体験型の遊びが、自然な形で日常生活動作向上につながるような楽しい仕掛けをしています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8		選択可能なことはすべてこども達に選んでいただきます。毎日の生活の中で“自分で選ぶ”を大事に積み上げています。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8		必要に応じ、担当職員もしくは看護師、児童発達支援管理責任者が参加しています。複数名で参加することもあります。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8		窓口が不明確にならないよう、児童発達支援管理責任者が主となり連携を図っています。内容は、全職員に周知しています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8		先生との情報共有を確実にし、状況によっては柔軟に支援内容を変更しています。子どもたちの状況、体調を第一に考えて支援を組み立てています。	頑張ることばかりを強いられないよう適時休息も大事にしています。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	8		申し送り書を作成し、情報共有しています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	8			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	3	県の医ケア児支援センターとの連携を行い、適時相談やスーパーバイズをいただきました。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	8		児童クラブさんとは2回交流を実施しました。	より多くの方に参加していただけるよう、交流先を増やしていきたいと思えます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	8		児童発達支援管理責任者が参画しています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8		連絡ノートを活用、送迎時、お迎え時を通し情報共有を行っています。	写真、また時には動画を活用しつつ、分かりやすい情報共有を行います。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8		年間を通し、数回コースを設けることは行っていますが、適時ペアトレの要素を取り入れた勉強会を行っています。感情マネジメントについても勉強会を実施しました。	保護者様と協働でこどもの支援ができるよう共に学びを深めています。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8			より分かりやすい説明ができるようスキルを磨きます。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8			

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	1		悩みや困りごとに寄り添い、共に悩み、共に考える支援者でありたいと思います。知識技術の向上を目指します。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	8		きょうだい児に関する集まりは大好評でした。次年度も企画します。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8		窓口や責任者を設置しています。	お問い合わせ、ご要望を伝えやすい関係性作りを行います。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8		SNSの発信頻度を上げました。保護者様も楽しみにしてくださっています。	SNSだけでなく、紙媒体でも毎月配布しています。継続して行います。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8		研修会を行い、お客様の大事な個人情報の扱いについて、リマインドしています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8		朝の会、活動中など、適時簡単な手話と言葉でお伝えするようにしています。特にイルカの活動室では、視覚支援を強化しています。	コミュニケーション手段は多様。ことばにだけ頼らず支援を行います。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	3	地域の公民館を利用し、年間を通し作品を展示すること、障がい特性について掲示するなど行い、地域の方々の障がい理解に努めました。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8		防災委員会と協働し訓練を実施しました。	訓練の様子などは、広報誌やSNSにて発信させていただきました。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	2	保護者様を通し、情報や検査結果をいただきました。食札にアレルギーを記載し対応しています。	厨房職員と提供職員で2重チェックしています。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8			緊急時の連絡体制を工夫していきます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8		職員会議での共有、また適時検討会を実施しています。	ヒヤリハットの件数を多くするなどにより、大きな事故を防いでいきたいと思っています。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8		年2回以上研修会を実施しています。また年2回不適切ケアやスピーチロックのアンケートを行っています。	毎年視点を変えた研修会を行っています。毎年継続します。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8		やむを得ず身体拘束を行う場合の条件等については、研修会で学んでいます。心愛会では、身体拘束は行いません。		